

第3章 「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」の取組結果と次期計画への課題

1 「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」の取組結果

「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン（平成27年度～令和元年度）では、基本理念「子どもを生み育てやすく、子どもが健やかに育つ奈良県」を目指し、3つの基本目標のもと施策を推進してきました。その結果については次のとおりです。

「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」の取組概要 ＜基本目標と推進施策・指標＞

基本目標Ⅰ 結婚・子育てをみんなで支える社会づくり

- ・指標① 第1子出産前後の女性の継続就業率を55%に高める
- ・指標② 女性（35～49歳）の就業率を65%に高める

基本目標Ⅱ 結婚の希望の実現と次代の親の育成

- ・指標③ 若者（15～34歳）の年間所得200万円以上の人数割合を全国平均まで高める
- ・指標④ 結婚を希望する若者を増やし、結婚の希望実現率を80%に高める

基本目標Ⅲ 子どもの健やかな育ちの実現

- ・指標⑤ 夫婦の「理想の子ども数」に対する「実際の子ども数」の割合を95%に高める

推進施策 10 施策…成果指標：14 指標、行動指標：58 指標

取組結果① ＜目標指標の進捗結果から＞

・女性の就業率及び若者の結婚希望に係る指標が改善（目標達成）

・夫婦は希望する子ども数を以前より持っていない

[基本目標指標 5 指標]	目標達成…指標②・④ 改善…指標①・③ 悪化…指標⑤
[成果指標 14 指標]	目標達成 5 (36%) 改善 9 (64%)
[行動指標 58 指標]	目標達成 9 (33%) 改善 22 (38%) 変動なし 2 (3%) 悪化 10 (17%) 現段階で評価できず 5 (9%)

※評価結果の詳細については、123～128 ページ

「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」の取組概要

＜重点的に取り組んできたこと＞

- ① 結婚や子育てに関する希望がかなうよう、雇用対策や就業支援、**男女とも**のワーク・ライフ・バランスを推進
- ② 子どもの心身の健やかな育ちのため、**保護者が安心して子育てができる環境整備**を推進

取組結果② <計画推進後の現状>

・女性のワーク・ライフ・バランスに関しては一定の成果が見られる

[女性の就業率(35～39歳)] ②56.2%→②764.1%で5年間の上昇は全国一
[妻の第一子出産後の継続就業率] ②5約4割→③0約5割に増加

・しかし、男性のワーク・ライフ・バランスは、大きな成果は見られない

[男性の働き方] 長時間労働割合、通勤時間、帰宅時間が依然全国上位
[男性の育児休業取得率] 5.0%(全国6.16%・政府目標2020年13%)
[子育ての関わり] 子育てに関われない夫の理由 8割が「仕事が忙しい」

・なかでも、母親の子育ての不安感・負担感の軽減に関しては、改善していない

[不安感負担感] 妻の子育ての不安感・負担感を感じる割合は約半数。5年前よりやや増加
[夫婦の分担状況] 子育ての分担は妻に8～9割偏っている
(正規共働き夫婦の場合も偏りはほぼ同じ)
[夫婦の一体感] 子育ての一体感は夫が感じているほど妻は感じていない
[独身者への影響] 独身者の「子育てが楽しいと思う」割合は約2割

・家庭だけでは子どもを守り切れない現状がある

[児童虐待相談対応件数] ③0過去最多件数
実母からの虐待が約半数(③0 51.8%)

2 次期計画への課題

「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」の目標指標の進捗結果や様々なデータなどからみた計画推進後の結果の概要と次期計画への課題は次のとおりです。

- 女性の社会進出が進んでも、男性のワークライフバランスは遅々として改善しない。
- わからない、慣れない子育てを母親が一人で担い、子育ての不安感・負担感を抱えているという現状。これらは、産後うつなどの母親の心身にも影響するとともに、児童虐待にもつながる恐れ。
- このような現状を踏まえ、次期計画では、前計画の内容を継承しつつ、子どもが人権を尊重され「すべての子どもが健やかに育つ」ために、家庭と地域の課題を改善することを重要課題とする。